

MC-16086

平成 28 年 7 月 28 日

各 位

一般財団法人 中東協力センター
常務理事 中西 昭夫



平成 28 年度「中東産業事情視察ビジネスミッション」参加者募集のご案内

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当財団の事業に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、弊センターでは、中東における政治経済事情、ビジネス環境等に関する幅広い知識の習得、及び現地政府機関、企業関係者、その他関係機関との人的関係構築を図り、皆様の将来のビジネス形成にお役立て頂くことを目的とした、「中東産業事情視察ビジネスミッション」を企画致しましたので、ご案内申し上げます。

参加を希望される方は、別添申込書に必要事項をご記入の上、8月31日（水）までに Eメールにてお申込み下さいますようお願い申し上げます。なお、誠に勝手ながら、参加者は申込み順とし、定員に達しました場合には、申込みを締め切らせて頂きますので、宜しくお願い申し上げます。

敬具

添付資料：

- 別添-1：平成 28 年度 中東産業事情視察ビジネスミッション実施要領
- 別添-2：平成 28 年度 中東産業事情視察ビジネスミッション日程（案）
- 別添-3：平成 28 年度 中東産業事情視察ビジネスミッション参加申込書

平成 28 年度 中東産業事情視察ビジネスミッション実施要領

1. 主催： 一般財団法人 中東協力センター

2. 日程： 平成 28 年 11 月 4 日(金)～ 11 月 12 日(土) 9 日間

3. 視察概要：

(1) 視察の目的

一昨年来の原油価格の下落により中東産油国は厳しい財政状況に直面しています。世界最大の産油国であるサウジアラビアにおいては、現在世界中から注目を浴びているモハメド・ビン・サルマン副皇太子が4月に経済改革計画「ビジョン 2030」を発表し、石油依存の社会から産業の多様化を図ることで、国内の安定化と成長を得ようとしています。計画ではサウジアラムコ株の 5%未満の株式公開や、公的投資基金(PIF)の拡充と民営化推進による投資促進と産業振興、軍事産業育成による軍事物資の国産化などが大きな柱となっています。さらに 6 月には、具体的なアクションプランとして、「国家変革計画 2020」が発表されました。112 ページから成る変革計画書には、各省庁別に 2020 年までに達成すべき 178 項目の戦略目標と 371 項目の指標が掲げられています。これら改革の方向性は各界で高く評価される一方、壮大な計画の実現性を疑問視する意見もあり、今後のサウジアラビアの成就に世界中から注目が集まっています。

こうした重要な局面を鑑み、本ミッションでは経済改革に挑みはじめたサウジアラビアの首都リヤドと東部州を重点に視察します。また、サウジアラビアの対比として外国企業を優遇するフリーゾーン(経済特区)の整備により直接投資が増加するとともに、中東のハブとしての地位を確立した UAE のドバイを訪問いたします。当地の政治・経済状況や現地ビジネス環境等について幅広い知識を多角的に習得し、各関係者との人的ネットワーク関係の構築を図ると共に、参加企業のビジネス形成に資することを目的として本ミッションを実施いたします。

(2) 主な訪問先(予定):別添 2 をご参照願います。

4. 募集人員：

10 名程度(先着順)【弊センターより 1～2 名が随行致します】

なお、申込者数が 5 名に満たない場合には、中止となる場合がございます。

5. 参加費用：

1 名につき、50 万円(弊センター賛助会員企業)／ 70 万円(非賛助会員企業)

当該費用には、渡航費(ビジネスクラス)、滞在費(4つ星以上、朝食付)、現地交通費、情報交換会費、団体行動時のホテル／バスへのチップを含みますが、昼食代、情報交換会以外の夕食代、その他上記以外の費用は含まれません。

6. 参加資格:

次の要件に適合する方とさせていただきます。

- ・ 中東に関心を持つ企業・団体の経営企画部門、海外／国際部門、経営戦略部門等を担当するマネージャーレベル、またはそれに準ずる方。
- ・ 弊センターが事前に承認した場合を除き、日本出発時から帰国時まで団体行動をとることが可能な方(出発前に、参加企業と弊センターの間で覚書を締結させていただきます)。
- ・ 英語での自己紹介、質疑応答が可能な方。
- ・ ミッション実施に支障のない健康な方(持病をお持ちの方やご高齢の方の参加申込は、お受けできない場合もございます)。
- ・ 現地駐在員のご参加については、別途ご相談ください。

7. パスポートと査証について:

◆パスポート

現在パスポートをお持ちでない方、あるいは次の条件の何れかに該当する方は、事前にパスポートの取得／更新／査証欄増補(増補は1度のみ可能)をお願いします。

- ・ パスポートの残存有効期間が、(サウジアラビア入国予定日の)平成28年11月5日時点で6か月未満の方
- ・ パスポートの査証欄余白が不十分な方(見開き2ページが必要)
- ・ パスポートにイスラエルの査証記録のある方

◆査証

サウジアラビアのみ査証が必要です。

- ・ 査証の取得方法については、参加のお申し込みをいただいた方に対し、別途ご案内申し上げます。

8. 申込方法、期限、照会先:

申込方法 : 添付申込書に必要事項をご記入頂き、パスポートのコピーと名刺コピー(和英表記)も添付の上、下記のEメールアドレス(全員)にご配信下さい。

申込期限 : 平成28年8月31日(水)

照会先 : 本件に関するご質問等は、下記までご連絡願います。

一般財団法人 中東協力センター

TEL : 03-3237-6722

担当: 西田 nishida@jccme.or.jp

細田 hosoda@jccme.or.jp

以上

平成28年度中東産業事情視察ビジネスミッション日程案

	月日	曜日	時間	実施内容	滞在都市
1	11月4日	金	22:00	成田空港発(EK319)	機中泊
2	11月5日	土	3:40	ドバイ空港着	リヤド泊
			6:55	ドバイ空港発(EK819)	
			7:50	リヤド空港着	
			pm	リヤド市内視察	
3	11月6日	日	am	JETROリヤド事務所 (面談先調整中)	リヤド泊
			pm	国家産業クラスター計画(NICDP) 現地進出日系企業A	
			19:00	現地邦人との情報交換会	
4	11月7日	月	am	サウジアラビア総合投資院(SAGIA) サウジアラビア工業用地公団(MODON)	東部州泊
			pm	現地進出日系企業B アブドラアジーズ国王国民対話センター(KACND)	
			20:00	リヤド空港発(SV1160)	
			21:10	ダンマン空港着	
5	11月8日	火	am	ダンマンジャパンデスク 東部州商工会議所	東部州泊
			pm	サウジアラムコ 現地進出日系企業C	
6	11月9日	水	am	現地進出企業D	ドバイ泊
			pm	ジュベイル・ヤンプー王立委員会(RCJY)	
			18:00	ダンマン空港発(EK826)	
			20:15	ドバイ空港着	
7	11月10日	木	am	JETROドバイ事務所 ドバイ・エアポート・フリーゾーン(DAFZA)	ドバイ泊
			pm	現地進出日系企業E	
8	11月11日	金		ドバイ市内視察・書類整理	機中泊
9	11月12日	土	2:50	ドバイ空港発(EK318)	
			17:35	成田空港着	

(注記 訪問先は調整中のため変更の可能性があります)

平成28年度 中東産業事情視察ビジネスミッション参加申込書

平成28年 月 日

(申込責任者)

会社・団体名

役職名

氏名

参加者名	漢字	(FAMILY)	(FIRST)	生年月日	昭和 年 月 日 (西暦 年 月 日生れ)
	ローマ字 (パスポート通り)				(満 歳)
参加者の勤務先	社名	和文			
		英文			
	所属	和文			
		英文			
	役職	和文			
		英文			
	所在地		〒		
連絡先	電話				
	海外携帯				
	Eメール				
(ふりがな) 自宅住所	〒				
国内連絡先	勤務先	氏名			
		所属・役職			
		電話			
		Eメール			
	留守先	氏名	(続柄:)		
		電話			

以下ご参考までにお伺い致します。(ご希望に添えない場合もございます。マイレージ登録はご自身でもご確認ください。)

座席希望	<input type="checkbox"/> 通路側	<input type="checkbox"/> 窓側	部屋希望	<input type="checkbox"/> 喫煙	<input type="checkbox"/> 禁煙
マイレージカード	JAL		ANA	その他	

◆中東協力センターによるサウジ査証手配について(該当する箇所に☑をお願いします。)

要(新規に取得)

要(今回のサウジ入国方法が、現在取得している査証の申告内容と異なるため再申請)

不要(今回の渡航に支障のない査証を取得済みまたは自社にて手配)

※上記で「要」に☑をされた方には、査証申請時に必要となる情報について、別途お伺いします。

本紙にてお預かりした個人情報、当センターにて適正に管理させていただきます。